

札幌市「少子社会に関するアンケート」

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、近年、子どもや家庭を取り巻く環境には大きな変化がみられ、それとともに本市の出生児数も年々減少する傾向にあります。

そこで、今回、市民の皆様の、結婚や家族、子育てなどに関するお考えやご意見についてお聞かせいただき、今後の“少子社会におけるまちづくり”を検討していく上で活用していきたいと考えております。

調査結果はすべて調査の目的のためにのみ使用し、統計的に処理いたします。他の目的で使用することはありませんし、個人名や個人的な内容が明らかになることは一切ありません。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成11年8月 札幌市保健福祉局児童家庭部

〔調査票のご記入にあたって〕

●記入の方法

- ①最初のページから順番にお答えください。質問の中には、一部の方にのみお尋ねするものがありますので、矢印やく>内の説明にご注意ください。
- ②質問に沿って、当てはまる選択肢の数字に○印（場合によっては◎印）をつけてください。
- ③質問により、○の個数を「1つだけ」「3つまで」など指定しているところがありますのでご注意ください。なお「3つまで」とは「最大3つまで」の意味です。この場合、1つだけつける、2つだけつける、のいずれでも構いません。
- ④()などの空欄には、該当する内容がある場合、具体的にご記入ください。

●調査票の返送方法

ご記入いただいた調査票は、そのまま折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、封をして、切手を貼らずにそのままご投函ください。

恐縮ですが平成11年9月10日(金)までにご投函いただくようお願い申し上げます。

ご記入上不明な点などがございましたら、恐れ入りますが下記までご連絡ください。

連絡先：札幌市 保健福祉局 児童家庭部 児童家庭課

住 所：〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目

大通バスセンタービル1号館3階

電 話：011-211-2982

担当者：砂金（いさご）

■まず、あなたご自身の生活について、おうかがいします。

Q 1 あなたは、現在の生活に満足していますか。(1つだけ○)

- 1. 満足している
- 2. まあ満足している
- 3. どちらともいえない
- 4. やや不満がある
- 5. 不満がある

Q 2 現在、あなたにはご自分やご家族の生活のことで、心配事や悩みがありますか。

あてはまるものについて3つまで○をつけてください。

- 1. 自分の健康や身体のこと
- 2. 親の生活や介護のこと
- 3. 配偶者（パートナー）に関すること
- 4. 子どもに関すること
- 5. 住宅のこと
- 6. 仕事のこと
- 7. 結婚のこと
- 8. 経済的なこと
- 9. その他 ()
- 10. 特にない

Q 3 あなたが生活の中で優先させたいことは何ですか。また、実際に優先していること（優先せざるを得ないこと）は何でしょうか。「優先させたいこと」、「実際に優先していること」のそれについて、次からあてはまる番号について2つまで○をつけてください。また、2つ選んだ場合は、そのうち「最も優先させたい」、あるいは「実際に最も優先している」方にそれぞれ○をつけてください。

		優先させたいこと	実際に優先していること
1	趣味やスポーツなどの余暇活動	1	1
2	友人・恋人との付き合い	2	2
3	仕事	3	3
4	家事	4	4
5	子育て	5	5
6	介護	6	6
7	夫婦の生活	7	7
8	勉強・学習	8	8
9	ボランティアなどの社会活動	9	9
10	近隣など地域での付き合いや活動	10	10
11	その他	11	11

Q 4 あなたは結婚していますか。(1つだけ○)

- 1. 結婚している（配偶者がいる）
- 2. 未入籍で同居している（パートナーがいる）
- 3. 配偶者・パートナーはかつていたが、離別・死別した →★SQ 4-1へ
- 4. 配偶者・パートナーはこれまで得たことがない →★SQ 4-1へ

★SQ 4-1 今後、結婚したいと思いますか。(1つだけ○)

- 1. できればすぐにでも結婚したい
- 2. いすれば結婚したい
- 3. それほどしたくないが、いずれ結婚することになるだろう
- 4. 戸籍上の結婚にこだわらないが、パートナーは欲しい
- 5. できれば結婚もしたくないし、パートナーも特に欲しいと思わない
- 6. 一生、配偶者もパートナーもいらない
- 7. その他 ()

■配偶者やパートナーを得たり、共に暮らすことに関して、ご意見をうかがいます。

Q 5 配偶者（パートナー）を得ることによるメリット（いい影響や利点）はどのようなことだと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1. 精神的に安定する
- 2. 経済的に安定する
- 3. 子どもを産み、育てることができる
- 4. 社会的に認められる
- 5. 友人が増える
- 6. 家族・親戚が増える
- 7. 親からの拘束がなくなる
- 8. 家事など分担してもらえる
- 9. 生活スタイルを変えることができる
- 10. 老後についての安心感が生まれる
- 11. その他 ()
- 12. 特に得られるものはない

Q 6 配偶者（パートナー）を得ることによって生じる問題とは、あなたにとってどのようなことだと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1. 精神的負担が大きい
- 2. 経済的に苦しくなる
- 3. 生活水準が下がる
- 4. 仕事との両立が大変
- 5. 家事・育児などの仕事が増える
- 6. 配偶者（パートナー）の諸状況が自分にも影響する
- 7. 友人との付き合いが制限される
- 8. 自由時間がなくなる
- 9. 生活スタイルを変えなければならない
- 10. 自分の親とのつながりが薄くなる
- 11. 配偶者の親や親戚との付き合いが増す
- 12. 配偶者の親の世話を求められる
- 13. その他 ()
- 14. 特に問題は生じない

Q 7 配偶者やパートナーと暮らす場合、家事などについて、どのように分担し合うのが理想だと思いますか。①～⑦のそれぞれについて1～6の番号に、1つずつ○をつけてください。

	1. 男性のみが行う	2. 男性を中心 に女性も行 う	3. 男性も女性 も同程度に行 う	4. 女性を中心 に男性も行 う	5. 女性のみが行 う	6. 性別に関係 なくできる方 が行う
①生計を立てる ための仕事	1	2	3	4	5	6
②家事	1	2	3	4	5	6
③育児	1	2	3	4	5	6
④家計管理	1	2	3	4	5	6
⑤子どもの教育	1	2	3	4	5	6
⑥地域での 付き合い	1	2	3	4	5	6
⑦親の介護	1	2	3	4	5	6

Q 8 <この設問は、現在、配偶者（パートナー）がいる方におたずねします>

現在、家事などにおいて、配偶者（パートナー）との役割分担はどのようにしていま
すか。①～⑦のそれについて、1～6から1つずつ○をつけてください。

	1. 男性のみ が行っ ている	2. 男性を中 心に女性も 行っている	3. 男性も女性も 同程度に 行っている	4. 女性を中 心に男性も 行っている	5. 女性のみが 行っている	6. どちらも 行って いない
①生計を立てる ための仕事	1	2	3	4	5	6
②家事	1	2	3	4	5	6
③育児	1	2	3	4	5	6
④家計管理	1	2	3	4	5	6
⑤子どもの教育	1	2	3	4	5	6
⑥地域での 付き合い	1	2	3	4	5	6
⑦親の介護	1	2	3	4	5	6

■「子育て」に関しておうかがいします。

Q 9 あなたはこれまで、小学生ぐらいまでの子ども（乳幼児・児童期の子ども）の子育
てにかかわったことがありますか。（1つだけ○）

1. 自分の子どもについて、現在子育てしている →★SQ 9-1へ
2. 自分の子どもについて、現在していないが、以前したことがある →★SQ 9-1へ
3. 自分の子どもではないが、きょうだいや親戚の子ども、また近隣の人の
子どもにいて、頻繁に預かったり、日常的に世話をしたことがある →★SQ 9-1へ
4. 自分の子どもではないが職業上、保育や児童の教育に携わっている →★SQ 9-1へ
5. 子育てについて、ほとんどまとまった経験はない →★SQ 9-2へ（次ページ）

★SQ 9-1 <1～4と回答した方>子育てについて未経験の人に対して、子育
て経験をすることを勧めたいと思いますか。（1つだけ○）

1. ぜひ勧めたい
2. どちらかといえば勧めたい
3. あまり勧めたくない
4. 勧めたくない
5. わからない

★S Q 9-2 <Q 9で5と回答した方>結婚するかしないかを別にして考えた場合、子育てをしてみたいと思いますか。(1つだけ○)

- 1. ゼひしてみたい
- 2. 機会があればしてみたい
- 3. あまりしてみたいと思わない
- 4. したくない
- 5. わからない

Q 10 子育ての意味はどういうところにあると思いますか。(いくつでも○)

- 1. 自分の生命を後世に伝える
- 2. 次の社会を担う世代をつくる
- 3. 子どもを持つことで社会的に認められる
- 4. 名前や財産の跡継ぎができる
- 5. 子育ての楽しさを味わえる
- 6. 子育てによって自分も成長できる
- 7. 子どもを通じて友人ができる
- 8. 将来、経済的援助が期待できる
- 9. 老後の精神的な支えになる
- 10. 夫婦、家族の絆が強くなる
- 11. 家庭が明るくなる
- 12. その他 ()
- 13. 特に意味はない
- 14. わからない

Q 11 子育てにより生じる問題とは、どのようなことだと思いますか。(いくつでも○)

- 1. 仕事をするチャンスが減る・無くなる
- 2. 仕事に全力投球できない
- 3. 経済的に負担が大きい
- 4. 精神的・肉体的に負担が大きい
- 5. 余暇の時間が持てない
- 6. 人と交流する機会や時間が減る
- 7. 行動範囲が狭まる
- 8. その他 ()
- 9. 特にない
- 10. わからない

Q 1 2 <子どものいない方におたずねします>

子どもがいない理由は何ですか。次から3つまで○をつけてください。

1. 配偶者もパートナーもいないから
2. パートナーはいるが、結婚していない（入籍していない）から
3. 現在いないだけで、いずれ持ちたいと望んでいる
4. 夫婦で楽しむ時間を大切にしたい
5. 住宅が狭い（狭かった）から
6. 家計にゆとりがほしい（ほしかった）
7. 仕事と育児の両立が難しい（難しかった）
8. 身近に子育てを手伝ってくれる人がいない（いなかった）
9. 子育て支援サービスが充実していない（していなかった）
10. 配偶者と意見が合わない（合わなかつた）から
11. 趣味やレジャーの時間を大切にしたい（したかった）
12. 教育費がかかるから
13. 育児の身体的・精神的負担が大きいから
14. 子育てに自信がない
15. 子どもが苦手だから
16. 現在の社会状況が生まれてくる子どもにとって過酷に思えるから
17. 健康上の理由で
18. 年齢的な理由で
19. その他 ()
20. 特に理由はない

Q 1 3 <子どものいる方におたずねします>

あなたが理想とする子どもの数は、現在のあなたの子どもの数とどう違いますか。
(1つだけ○)

1. 現在の子どもの数より、理想を言えばもう1人欲しい →★SQ13-1へ
2. 現在の子どもの数より、理想を言えばもう2人欲しい →★SQ13-1へ
3. 現在の子どもの数より、理想を言えばもう3人以上欲しい →★SQ13-1へ
4. 現在の子どもの数より、理想を言えば少ない方がよかつた
5. 現在の子どもの数は、理想通りである
6. 特に、理想の子どもの数を考えていない

★SQ13-1<Q13で1~3と回答した方へ> 理想の子どもの数が実際の子どもの数より少いのは、どのような理由ですか。特に大きな理由を、3つまで○をつけてください。

1. 現在は理想の数より少ないが、これから持ちたいと思っている
2. 住宅が狭い（狭かった）から
3. 家計にゆとりがほしい（ほしかった）
4. 仕事と育児の両立が難しい（難しかった）
5. 育児休暇を取れなかったから
6. 身近に子育てを手伝ってくれる人がいない（いなかった）
7. 子育て支援サービスが充実していない（いなかった）
8. 配偶者と意見が合わない（合わなかった）から
9. 他の子どもに手が回らなくなる
10. 教育費がかかるから
11. 育児の身体的・精神的負担が大きい
12. 健康上の理由で
13. 年齢的な理由で
14. その他（
 ）
15. 特に理由はない

Q14<以下、最後まで、全員の方におたずねします>

札幌市は、地域的に見て子育てがしやすい環境にあると思いますか。

(1つだけ○)

1. そう思う
2. まあそう思う
3. あまりそう思わない →★SQ14-1へ
4. 全くそう思わない →★SQ14-1へ
5. わからない

★S Q 14-1 <Q14で3~4と回答した方へ> 子育て環境が良くないと思うのはどんな点ですか。次から、特にあてはまるというものについて、5つまで○をつけてください。

1. 保育所が少ない
2. 保育所のサービス内容が充実していない
3. 保育所の保育料などの費用が高い
4. 幼稚園が少ない
5. 幼稚園の教育内容が充実していない
6. 幼稚園の入園料や月々の保育料などの費用が高い
7. 望ましいと思う教育機関が少ない
8. 子育てサークルなどの地域活動が充実していない
9. 核家族が多く、子育てを支援してくれる親・きょうだいが身近にいない
10. 近隣のつきあいが疎遠で、地域の交流が活発でない
11. 地域の雰囲気が子どもに冷たい感じがする
12. 積雪寒冷地なので、移動手段などに制約があり、冬の遊び場が限られている
13. 住居が狭いなど住宅環境が良くない
14. 遊び場が全般的に少ない
15. 子どもが身近に親しめる自然が少ない
16. 大気汚染や廃棄物問題など生活環境の悪化が進んでいる
17. その他 ()
18. わからない

Q15 託児ボランティアなど、子育てを地域ぐるみで支援しようという活動が市内でも行われていますが、そうした地域の人々の連携による子育て支援サービスがあれば、あなたは利用したり、担い手（サービス提供側）として参加してみたいと思いますか。

①子育て支援サービスを受ける立場として（1つだけ○）

<現在、子育てしていない方は子育てしていると想定してお答えください>

1. ぜひ利用してみたい
2. できれば利用してみたい
3. あまり利用したいと思わない
4. 利用したくない
5. わからない

②子育て支援サービスの担い手（提供者）として（1つだけ○）

1. ぜひ参加してみたい
2. できれば参加してみたい
3. あまり参加したいと思わない
4. 参加したくない
5. わからない

■家族や家庭に関する考え方について、ご意見をうかがいます。

Q16 ①から⑯までの各意見について、それぞれあなたの意見に最も近いものに1つずつ
□をつけてください。

	1. そう思う	2. どちらか といえば そう思う	3. どちらか といえば そうは思 わない	4. そうは思 わない
①「結婚は個人の自由なので、してもしなくてもよい」	1	2	3	4
②「籍は入れなくても家族は家族である」	1	2	3	4
③「夫婦が別々の姓を名乗ってもかまわない」	1	2	3	4
④「結婚したら、女性は家事・育児に専念した方がよい」	1	2	3	4
⑤「未成年の子どもがいても、事情によっては離婚はやむをえない」	1	2	3	4
⑥「結婚しても、必ずしも子どもを持たなくともよい」	1	2	3	4
⑦「結婚しないで、子どもを持ってもかまわない」	1	2	3	4
⑧「子どものことも大事だが、自分自身の生活も大事にしたい」	1	2	3	4
⑨「乳幼児期の子育ては母親だけがするのではなく、保育士（保母）などに預けてもいい」	1	2	3	4
⑩「子どもの世話の大部分は父親でもできる」	1	2	3	4
⑪「親が仕事や自分の生活を大事にするために、子育て支援サービスを活用することはよい」	1	2	3	4
⑫「結婚や仕事に関する価値観や考え方の違いが、男性と女性との間でますます大きくなっている」	1	2	3	4
⑬「国や自治体が支援して、社会全体で子育てを支えていく必要がある」	1	2	3	4
⑭「国や自治体が支援して、社会全体で高齢者介護を支えていく必要がある」	1	2	3	4

■ 「少子社会」に関するご意見をうかがいます。

* 「少子社会」とは、「出生率が低下し、子どもの数が減ることにより、将来的には人口規模の縮小が考えられる社会」を指しています。

Q17 札幌市の合計特殊出生率（一人の女性が生涯平均何人の子どもを産むかの推計）は1.08（平成9年）で、全国の1.39をかなり下回っています。こうした市の少子化の動向について、あなたは知っていましたか。（1つだけ○）

- 1. よく知っている
- 2. ある程度知っている
- 3. 知らなかった

Q18 少子社会が個人の生活に与える影響として、どのようなことが考えられると思いますか。次から3つまで○をつけてください。

- 1. 教育現場にゆとりができ、各人にあった教育ができる
- 2. 進学や就職において競争が少なくなり、精神的・時間的な余裕ができる
- 3. 住宅事情が改善され、住宅購入や住み替えなどがしやすくなる
- 4. きょうだいや遊び相手が少ないので、子どもの社会性が育ちにくくなる
- 5. 一人ひとりの子どもへの期待が大きくなり、子どもの精神的負担が大きくなる
- 6. 過干渉により、子どもの自主性の發揮が阻害される
- 7. きょうだいが少ないので、親の介護の負担が大きくなる
- 8. その他（ ）
- 9. 影響はない
- 10. わからない

Q19 少子社会が国や地域に与える影響としては、どのようなことが考えられると思いますか。次から3つまで○をつけてください。

- 1. 人口規模縮小により、資源の消費が抑制され、環境問題が一部改善される
- 2. 就労人口が減少し、これまで以上に女性や高齢者の社会進出の機会が増加する
- 3. 女性の就労が促進されるとともに、男女が協力し合って生活や社会を築く風潮が強まる
- 4. 行楽地や交通機関、交通網などのラッシュ緩和、住宅事情の改善などにより、街に空間的な余裕が生まれる
- 5. 若い労働力の不足により、経済の活性化や安定的な経済成長が見込めなくなる
- 6. 現行の年金制度や医療保障制度が成り立たなくなる
- 7. 現役世代の租税や社会保障負担が増大し、個人の就労意欲が衰え、経済活力が弱まる
- 8. 地域に住む若い世代が減少し、地域の活気がなくなる
- 9. 人口規模の縮小により、様々な需要が減少し、産業が衰退する
- 10. その他（ ）
- 11. 影響はない
- 12. わからない

Q 2 0 「少子社会」の影響などを総合的に見た場合、あなたはそれについて問題だと思いますか。(1つだけ○)

- 1. 問題ではなく、むしろ望ましいことである
- 2. 問題と言うほどでなく、特に心配する必要はない
- 3. 多少は問題である
- 4. 非常に問題である
- 5. わからない

Q 2 1 出生率が低くなった主な原因として何が考えられると思いますか。次の中から主な原因と考えられるものについて、3つまで○をつけてください。

- 1. 男女ともに「結婚して子育てする」こと以外に、生きがいや価値を見出す人が増えたから
- 2. 子育てより自分たちの生活を楽しみたい夫婦が増えたから
- 3. 女性の社会進出が進み、子育てよりも仕事に生きがいを見出す女性が増えたから
- 4. 結婚年齢が高くなかったから
- 5. 出産・子育ては経済的負担が大きいから
- 6. 子どもを少なく産んで、大切に育てようとする人が増えたから
- 7. 労働環境などを含めて、仕事と子育ての両立支援体制が整っていないから
- 8. 住宅や遊び場など、子育てに望ましい住環境などが整備されていないから
- 9. いつでも誰でも利用できる子育て支援サービスが整っていないから
- 10. 地域での付き合いが減り、身近で子育てを支えてくれる人がいなくなってきたから
- 11. 地球環境や社会の動向に対して、漠然とした不安を感じる人が増えているから
- 12. その他()
- 13. わからない

Q 2 2 札幌市の出生率が全国に比べて低いことについて、あなたの実感からはどのようなことが背景になっていると思いますか。次からあなたの意見に特に近いものについて2つまで○をつけてください。

- 1. 札幌は本州に比べて、家制度のしがらみが薄く、結婚や子どもを持つことについて、周囲があまり強く勧めたりしないから
- 2. 札幌は核家族の割合が高く、親やきょうだいなど身内が同居したり近隣に住んでいる場合が少ないため、子育てに対して身内の支援を得にくいかから
- 3. 転勤族など非定住者の市民が比較的多く、家族に関する価値観も多様であるため
- 4. 大都市であるため、地価・家賃が道内でも高く、若い世代が持ち家を持ちにくいため住宅環境に制約があり、近郊へ人口が流出する傾向にあるから
- 5. 積雪寒冷地で、冬季など育児の身体的・精神的負担が大きいから
- 6. その他()
- 7. わからない

■ 「少子社会」における行政の施策に関して、ご意見をうかがいます。

Q 2 3 結婚する機会に恵まれやすくするために、国や自治体が何らかの支援策を実施することについて、あなたはどのように思いますか。(1つだけ○)

1. 結婚は個人の問題なので、国や自治体の支援策実施はそぐわない
2. 結婚は個人の問題だが、国や自治体なりに支援策を行う余地はあると思う →★SQ 23-1へ
3. 少子化は個人の問題にとどまらないから、国や自治体はぜひ、結婚したい人が結婚しやすくなるよう支援策に取り組むべきである →★SQ 23-1へ
4. その他()
5. わからない

★SQ 23-1 それでは、結婚がしやすくなるために国や自治体が実施することが望ましい政策とはどのような内容が考えられますか。次から2つまで○をつけてください。

1. 結婚したい人同士の出会いの場づくりを支援する
2. 労働時間の短縮を進める
3. 男女が分け隔てなく社会参加や自己実現ができるように意識改革を推進する
4. 男性の家事や育児への参加を推進できる学習の場などを増やす
5. その他()

Q 2 4 子育てに関する国や自治体による支援策は、どの程度、求められていると思いますか。(1つだけ○)

1. 現状では非常に不足しているので、早急に力を入れるべきである
2. 現状ではやや不足していると思うので、今後充実が望まれる
3. 現行以上に充実が求められているとは思わない
4. 他に優先すべき施策が多いので、子育て支援は力を入れなくてよい
5. わからない

Q 2 5 あなたは、少子化対策全般について国や自治体が取り組むことについてどのように思いますか。次から1つだけ○をつけてください。

1. 国が積極的に推進すべきである
2. 国よりも、身近な行政である自治体（札幌市）が積極的に推進すべきである
3. 国、自治体を問わず、行政全体で、積極的に推進するべきである
4. 国、自治体を含め、必ずしも行政が積極的に推進するべきとは思わない
5. 国、自治体を含め、行政が少子化対策を行うのは好ましくない
6. わからない

Q 2 6 出生率を上げるために行政が推進すべき施策として、あなたが特に重要と思うものを、次から5つまで○をつけてください。そのうち最も重要なものを◎を1つだけつけてください。

1. 保育施設の数を増やす
2. 保育施設の保育時間を長くする
3. 短時間気軽に預けられる保育施設を増やす
4. 自宅に子育て支援者を派遣する子育てヘルパー・サービスの実施
5. 出産手当や児童手当を増やす
6. 保育施設などの保育料を補助する
7. 教育費・住宅費・衣食費などを補助する
8. 良質で安価な住宅を提供するなどの住宅対策
9. 子ども連れでも安全・快適に移動できる交通システムなどの都市環境の整備
10. 子どもがのびのびと遊べる場つくり
11. 地域の子育てネットワークづくり
12. 出産・子育てを相談できる窓口の整備
13. 労働時間短縮を推進する
14. 柔軟な勤務体制の導入を推進する
15. 育児休業制度を充実させる
16. 育児休業を取りやすい雰囲気づくりを推進する
17. 男性の家事や育児への参加を啓発する
18. 妊娠・出産、子育てについて正しい知識を与える少年期からの性教育の推進
19. パートナーとの出会いの場づくりの支援
20. その他()
21. 特にするべき施策はない

Q 2 7 現在の社会保障制度では、医療や年金制度など高齢者世代への対応に重きが置かれています。今後少子化が進展するならば、子ども、ないしは子育てに対する社会保障をより手厚くするなど、少子化対策を強化していく政策の選択も考えられますか、これについてあなたはどう考えますか。(1つだけ○)

1. 高齢者対策より少子化対策に施策のウエイトを移していくべきだ
2. 高齢者対策と少子化対策は同様のウエイトで並行して力を入れていくべきだ
3. 高齢者対策の方が少子化対策より切実であり、当面は高齢者対策を優先すべきだ
4. その他()
5. わからない

Q 2 8 国をはじめ、全国の自治体で少子化対策について検討が行われているところですが、札幌市に暮らしている実感や経験から、少子化の背景や理由、対応策について、普段、お感じになっていることがあれば自由にお書きください。

■最後に、あなた自身のことについておうかがいします。

F 1 あなたの性別は 1. 男性 2. 女性

F 2 あなたの年齢は () 歳

F 3 あなたの職業は次のどれですか。(1つだけ○)

- 1. 農林漁業
- 2. 農林漁業以外の自営業、家族従業
- 3. 医師、弁護士、著作業などの自由業
- 4. 勤め人(専門職、技術職、管理職)
- 5. 勤め人(一般事務、販売、サービスなどの仕事)
- 6. 勤め人(建設、工場、運転などの現場労働の仕事)
- 7. パート、アルバイト
- 8. 専業主婦
- 9. 学生
- 10. 無職
- 11. その他()

F 4 現在、どなたと同居していますか。あてはまるものを全てお選びください。

なお、「親」は配偶者・パートナーの親も含みます。

- 1. 同居者はいない(ひとりぐらし)
- 2. 配偶者(パートナー)
- 3. 配偶者(パートナー)と子ども
- 4. 親と配偶者(パートナー)
- 5. 親と配偶者(パートナー)と子ども
- 6. 親
- 7. 親と兄弟姉妹
- 8. その他()

F 5 あなたの子どもの数は何人ですか。

同居、別居にかかわらず、合計の数をお答えください。 () 人

F 6 同居している子どもの年齢は、次のどれにあてはまりますか。あてはまるものをすべてお選びください。

- 1. 保育園児(認可、認可外を問わず)
- 2. 幼稚園児
- 3. 上記1~2以外の未就学児
- 4. 小学生
- 5. 中・高校生
- 6. 18歳以上の学生(大学生・専門学校生など)
- 7. 18歳以上(学生以外の社会人など)
- 8. その他()

F 7 あなたは札幌市に通算で何年ぐらい住んでいますか。

- 1. 1年未満 → F 8へ
- 2. 1~3年未満 → F 8へ
- 3. 3~5年未満 → F 8へ
- 4. 5~10年未満 → F 9へ
- 5. 10~20年未満 → F 9へ
- 6. 20年以上 → F 9へ

F 8 < F 7 で 1~3 と回答した方へ>

札幌市に転居する前に住んでいた地域はどこですか。直前の 1 力所について、
1~4 から 1 つに○をつけた上、2~4 の場合は <> 内に示すように記入下さい。

1. 札幌近郊（江別市、石狩市、北広島市、南幌町）
2. 札幌近郊を除く道内 → <具体的に市町村名を記入ください> ()
3. 道外の右記の都市 → <次の①~⑫の該当するものに○をつけてください>
①東京都 ⑤川崎市 ⑨神戸市
②仙台市 ⑥名古屋市 ⑩広島市
③千葉市 ⑦京都市 ⑪北九州市
④横浜市 ⑧大阪市 ⑫福岡市
4. 道外で上記 3 以外の地域 → <具体的に府県名を記入ください> ()

F 9 あなたの最終学歴は次のどれですか。現在、在学中の方は現在の学校についてお答えください。(1 つだけ○)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 新制中学校・高等小学校 | 5. 短大 |
| 2. 新制高校・旧制中学・高等女学校 | 6. 高専 |
| 3. 旧制高等学校 | 7. 大学 |
| 4. 専門学校、専修学校 | 8. 大学院 |
| | 9. その他 () |

F 10 現在、住んでおられる区はどれですか。(1 つだけ○)

- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 中央区 | 4. 白石区 | 7. 清田区 | 10. 手稲区 |
| 2. 北区 | 5. 厚別区 | 8. 南区 | |
| 3. 東区 | 6. 豊平区 | 9. 西区 | |

F 11 お住まいになっている住居は次のどれに該当しますか。(1 つだけ○)

- | | |
|------------------------|--|
| 1. 賃貸マンション・アパート(社宅を含む) | |
| 2. 賃貸の一戸建て(社宅を含む) | |
| 3. 分譲マンション | |
| 4. 一戸建て(持ち家) | |
| 5. その他 () | |

F 12 あなたの世帯全体の1年間の収入はどれぐらいですか。(1 つだけ○)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 300万円未満 | 4. 700~1000万円未満 |
| 2. 300~500万円未満 | 5. 1000~1500万円未満 |
| 3. 500~700万円未満 | 6. 1500万円以上 |

F 13 あなたの出身地は、次のどれに該当しますか。(1 つだけ○)

- | | | |
|---------|---------------|-------|
| 1. 札幌市内 | 2. 札幌市以外の北海道内 | 3. 道外 |
|---------|---------------|-------|

●長時間にわたり、ご協力をありがとうございました。

* 同封の返信用封筒に入れ、9月10日(金)までにご投函ください。